

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	高速道路上（高架橋）での救助救出活動時に、活動隊員に中央分離帯からの転落危険があった。
3. 体験した事例の中心的要素	事故車両が中央分離帯ガードレール側に車両前部を大破した状態で停止していたため、運転手（要救助者）を中央分離帯側からバックボードを挿入して救出せざるを得なかつたが、中央分離帯の足場（金網）が老朽化し踏み抜いて高架下に転落する危険があつた。
4. 体験した事例の原因・理由	高速道路施設の老朽化及び隊員の足元確認が出来ない状況下によるもの。

#### 【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

### 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 21 年 6 月 1 日 午後 11 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：高速道路上（高架橋）
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	墜落・転落、
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期、 [ ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	人命検索・救出、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[ 39 ]歳、 勤続年数[ 20 ]年、 現場経験年数[ 20 ] 年、 階級[ 消防司令補 ]、 同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 機関員 ]
○当事者 B	年齢[ 34 ]歳、 勤続年数[ 15 ]年、 現場経験年数[ 15 ]年、 階級[ 消防士長 ]、 同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 車長 ]
○当事者 C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

## 1.1. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者A、Bが	救助完了後、	
経過 2		バックボードを中心分離帯側から挿入し、	
経過 3		要救助者を手前に引き抜こうとした際	
経過 4		足が金網部分にかかり転落危険を感じた。	
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

#### 【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 いいえ
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 いいえ
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 いいえ

#### b 注意力が欠如していた

- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

#### ○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

#### ○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	はい

#### ○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

#### ○その他

l. その他の理由があつた。

はい：危険箇所であることを認知していたが、足の位置を判らなかつた。
-----------------------------------

## ヒヤリハット事例状況図面

